

私のことばで、農村の魅力を伝える。

農村の魅力を 発見！発信

出来上がった記事は・・・
栃木県の農村ファン交流サイト

“TUNAGU”に掲載予定！

若者レポーター 養成研修 2025

全3回

栃木県内の農村（中山間地域）でも、高齢化、過疎化が進み、これまでの暮らしや、美しい風景、それを支える田畑の仕事を維持することが難しくなってきました。これからは農村を守っていくためには、農村の魅力を多くの人に「知ってもらうこと」が大切です。そこで、今回の研修では、若者の皆さんの感性を活かして農村の魅力を発信する「若者レポーター」を養成します。研修での学びは、今後の人生・仕事にもきっと役立ちます。ぜひ、チャレンジしてみませんか？

会場 第1、3回：栃木県庁北別館2階202会議室
第2回：農村づくり団体活動場所（選択制／研修開始後決定）

時間 各回：13:00～16:00（第2回のみ農村づくり団体活動場所ごとに変わる可能性あり。）

定員 10人程度（先着順） ●高校生、大学生、35歳までの若者
●農村（中山間地域）に関心があり、原則として全ての研修に参加できる人



第1回

8/29(金)

事前学習 プロから学ぶ取材のコツ／体験談

農村の魅力を引き出し、独自の切り口で情報発信ができるように、プロである講師の方から情報収集（インタビューや取材）の技術を学ぶ。農村で活躍する現役若者ライターからの体験談も。

第2回

9～10月に1日

※日程は後日決定。

現地訪問 取材・活動体験▶記事作成

グループに分かれて、県内で農村づくり活動を実践している団体を訪問。活動体験もしながら取材を行う。取材後は各自記事作成。

第3回

11/24(月/祝)

記事投稿！コンテンツのブラッシュアップ▶投稿

それぞれの記事は、事前に講師の方が添削。その上で、添削解説と記事公開前最終アドバイスをもらう。

講師

第1回、第3回 簗田 理香氏

益子町在住。地域編集室簗田理香事務所主宰（企画・編集・広報）。行政コンサル・有限責任事業組合風景社所属（簡易社会調査やワークショップ設計・運営、メディア制作などを担当）。2016年から2020年まで国立大学法人宇都宮大学地域創生推進機構にてコーディネーター兼特任准教授として学生と地域を繋ぐ事業に従事。地域活動では、地域コミュニティ・ヒジノワ cafe&space の共同運営、非農家の環境保全&循環型の活動グループのネットワークづくりなどを行っている。



第1回 小松原 啓加氏（塩谷町役場 企画調整課 地域おこし協力隊）

1997年生まれ、小山市出身。2023年より塩谷町地域おこし協力隊に着任。地域のキーパーソンを取材し、想いを発信するライターとして活動中。人と人をつなぐ交流イベントの企画や、SNSでの発信も行う。協力隊3年目の現在は、ライティングの活動に加えて地域の空き家を改修し、移住希望者のための住まいづくりを進めている。



農村の魅力発見発信若者レポーター養成講座事務局
（NPO 法人トチギ環境未来基地）

☎ 0285-81-5373 ✉ tochigi@conservation-corps.jp

主催：栃木県農政部農村振興課 農村・中山間地域担当 里づくりチーム

お申込先

締切：8月25日（月）

左記メール、または右記 QR コードより
次の内容を明記の上お申し込みください。

【氏名、住所、電話番号、年齢、職業・学校名（任意）】

